

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金経営状況報告書

法人の概要（令和6年6月28日時点）

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金
- 2 目 的 県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖及び水や魚に親しむ機会の提供の促進に関する事業を行い、魚の豊かな川づくりを推進し、もって本県の内水面漁業の振興及び地域の活性化に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成24年3月23日
(財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金設立許可年月日
平成6年3月4日)
- 4 設立登記年月日 平成24年4月1日
(財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金設立登記年月日
平成6年3月7日)
- 5 基 本 財 産 579,366,786円
出えん金 600,000,000円
鳥取県出えん金 275,000,000円
関係市町村出えん金 200,000,000円
建設業協会出えん金 100,000,000円
漁業関係団体出えん金 25,000,000円
平成29年度～令和5年度取崩し 38,500,000円
令和2年度～令和5年度償却原価 17,866,786円
- 6 役 員 等 評 議 員 4人 理 事 4人 監 事 2人
評 議 員 太 田 太 郎 (公立大学法人公立鳥取環境大学環境
学部准教授)
" 中 前 雄 一 郎 (元北栄町立北条小学校校長)
" 平 野 誠 師 (元鳥取県農林水産部水産振興局水産
課長)
" 森 下 恵 子 (公益社団法人鳥取県栄養士会管理栄
養士)
代 表 理 事 中 田 達 彦 (日吉津村長)

業務執行理事 鈴木 由香利 (鳥取県農林水産部水産振興局長)

理事 米谷 浩一 (一般社団法人鳥取県建設業協会専務理事)

〃 佐藤 英夫 (鳥取県内水面漁業協同組合連合会長)

監事 坂本 武夫 (鳥取市農林水産部長)

〃 西根 泰章 (西日本信用漁業協同組合連合会常務理事)

7 職員 3人

8 事務所 鳥取市東町一丁目220番地

令和5年度事業実施状況

【公益目的事業1：県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖促進に関する事業】

1 増殖促進事業

(1) 助成

河川及び湖沼の水産資源の増殖を促進するために実施する淡水魚介類の種苗の放流（アユ、ヤマメ、ウナギ等）及び水産資源の確保等（淡水魚介類の産卵場造成、カワウの追払い等）のための事業に対し、事業費の一部を助成した。

また、内水面漁協のうち、千代川、天神川、日野川水系の3河川の漁業協同組合については、2カ年限定（R4,5）の集中的支援であるアユ資源緊急対策等の取組についても、その事業費の一部を助成した。

近年、県内における河川や湖沼を取り巻く環境は、河川工事、自然流水量の減少等により自然生態系が大きく変化し、水生動物等の生息環境が著しく損なわれ、魚類等の水産資源が年々減少している。当法人は、内水面漁協の行う事業に対して助成を行うことにより、水産資源の保護増殖、河川及び湖沼の環境改善に寄与している。

決算額：10,550,385円

[実施状況] ※以下の概要の①、②は、①従来の事業、②集中的支援の事業

ア 実施主体：千代川漁業協同組合

・概要：アユの種苗放流及び産卵場造成

①アユ稚魚960kg放流、アユの産卵場造成

②アユ稚魚610kg放流

・事業費（うち助成費）：4,726,900円（3,325,000円）

┌①2,738,300円（2,325,000円）

└②1,988,600円（1,000,000円）

イ 実施主体：天神川漁業協同組合

・概要：アユの種苗放流、ヤマメの種苗放流、溪流魚の産卵場造成

①アユ稚魚310kg放流、ヤマメ成魚630kg放流、溪流魚の産卵場造成

②アユ稚魚150,000尾放流

・事業費（うち助成費）：4,537,600円（2,353,000円）

┌①2,386,000円（1,353,000円）

└②2,151,600円（1,000,000円）

ウ 実施主体：日野川水系漁業協同組合

・概要：ヤマメの種苗放流、アユの産卵場造成、カワウ追払い、アユ親魚育成放流等

①ヤマメ稚魚23,325尾放流、ヤマメ成魚1,652kg放流、アユの産卵場造成、カワウ追払い等

②アユ親魚6,000尾育成放流

・事業費（うち助成費）：6,346,006円（3,725,000円）

┌①4,752,440円（2,725,000円）

└②1,593,566円（1,000,000円）

エ 実施主体：湖山池漁業協同組合

・概要：フナ採卵・孵化放流50,000尾、シラウオ、エビ等の産卵場造成2,600㎡、シジミ漁場清掃15㎡及び孵化放流

・事業費（うち助成費）：542,739円（542,739円）

オ 実施主体：東郷湖漁業協同組合

・概要：シジミ稚貝生産及び放流110,000個、フナ稚魚30,000尾放流、エビ、シラウオ等の産卵場造成、漁場整備、湖底耕うん（9,000㎡）

・事業費（うち助成費）：604,646円（604,646円）

(2) 調査等

河川及び湖沼における水産資源の保護増殖、生態系の維持及び保全、また環境保全等のための調査等を実施した。結果等については、ホームページ上での掲載等の方法により、広く社会一般に公表した。

関係機関のみならず遊漁者等への情報提供に繋がっている。

決算額：298,000円

〔実施状況〕

- ア 年間水温調査（県委託事業）
県内主要3河川における水温記録装置による測定結果の回収を12～3月にかけて行った。
- イ 遊漁者数調査（県委託事業）
県内主要3河川の各代表地点での遊漁者数のカウント、状況調査を9月に行った。
- ウ アユ放流状況調査（県委託事業）
千代川漁協と天神川漁協のアユの放流状況等について調査し、地図化した。

【公益目的事業2：県内の河川及び湖沼における水生動物等に親しむ機会の提供の促進に関する事業】

2 ふれあい事業

(1) 助成

県内の市町村、非営利団体、内水面漁協が河川又は湖沼において実施する地元の住民を中心とした魚のつかみ取り、放流等の事業（祭りやイベント内での実施も可）に対し、事業費の一部を助成した。令和5年度は、当初13実施主体が事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止などの理由により、下記10実施主体の実施となった。

近年、水生動物等に親しむ機会が希薄しているため、本事業の役割はますます重要であると考え。この事業を通じて、内水面に関心を持ってもらうとともに、環境に対する理解を深めてもらうほか、生態系の保全・維持の重要性を周知している。

決算額：340,000円

〔実施状況〕

- ア 実施主体：鳥取市
 - ・概要：地元の児童31名によるヤマメの稚魚放流。
 - ・効果：児童が川や魚とふれあうことで、魚や川に関する関心を深める機会となった。
 - ・事業費（うち助成費）：30,000円（15,000円）
- イ 実施主体：若桜町
 - ・概要：千代川漁業協同組合若桜支部の組合員によるヤマメの稚魚放流。
※急な悪天候により地元の園児によるヤマメの稚魚放流を中止。
 - ・効果：水産資源の保護及び培養に取り組むことができたほか、釣り客の集客、清流のまち若桜のPRに繋がった。
 - ・事業費（うち助成費）：105,000円（50,000円）
- ウ 実施主体：河原町あゆ祭企画実行委員会
 - ・概要：中学生以下の参加者651名によるアユのつかみ取り。
 - ・効果：水に親しむことの楽しさを体験できる良い機会となったほか、魚の豊かな川を将来的に大切に
する地域づくりの推進に繋がった。
 - ・事業費（うち助成費）：445,500円（50,000円）
- エ 実施主体：小鷲河ふる里をまもる会
 - ・概要：参加者250名による淡水魚の生態観察、ヤマメのつかみ取り。
 - ・効果：親子のふれあいの場となるほか、自然環境の大切さ、河川に生息する生き物について学ぶ機会
となった。
 - ・事業費（うち助成費）：123,191円（50,000円）
- オ 実施主体：佐治ふるさと祭り実行委員会
 - ・概要：参加者27名によるヤマメ釣り及びつかみ取り。
 - ・効果：地元の河川、魚にふれあうことで、自然の豊かさ、恵みの大切さを再認識する機会となったほ
か、水産資源の保護の推進に繋がった。
 - ・事業費（うち助成費）：111,424円（50,000円）
- カ 実施主体：三滝まもり隊
 - ・概要：地元住民、観光客等240名によるヤマメ、イワナの釣り及びつかみ取り。
 - ・効果：水や魚に親しみ、楽しさを体験する機会となった。
 - ・事業費（うち助成費）：77,900円（38,000円）
- キ 実施主体：智頭町親水公園連絡協議会
 - ・概要：町内児童19名によるヤマメのつかみ取り、環境学習会。
 - ・効果：河川や自然環境に触れる機会を通じて、体験的な学びを経験するほか、河川の生態系につい

て学ぶ機会となった。また、環境への関心や意識が高まった。

- ・事業費（うち助成費）：18,978円（9,000円）
- ク 実施主体：竹田地域協議会
 - ・概要：地元の児童等約40名によるヤマメのつかみ取り。
 - ・効果：豊富できれいな水や生き物、環境保全への関心を高める機会となった。
 - ・事業費（うち助成費）：40,000円（20,000円）
- ケ 実施主体：みささ村地域協議会
 - ・概要：地区住民、観光客等約120名によるヤマメのつかみ取り。
 - ・効果：三徳川の魅力を再認識する機会となったほか、魚の棲むきれいな川づくりへの意識も高まった。
 - ・事業費（うち助成費）：50,000円（25,000円）
- コ 実施主体：日野川水系漁業協同組合
 - ・概要：地元の園児22名によるサケの稚魚体験放流。
 - ・効果：豊かな自然環境の中で水や魚に親しむ機会となったほか、水産資源の保護増殖、漁業振興の活性化に繋がった。
 - ・事業費（うち助成費）：66,500円（33,000円）

【公益目的事業3：県内の河川及び湖沼に関する水産資源の保護培養のための普及啓発に関する事業】

3 普及啓発事業

内水面に関わる利害関係者（一般県民、行政、漁業関係者等）が内水面における水産資源の実情を認識し、正しい専門知識を身につけ効果的な事業の実施及び信頼を深め協力体制の構築に繋がる機会を提供するため、各関係者が情報共有、学ぶ機会となる講演会を鳥取県と連携して開催した。また、内水面に関する規則等重要な情報を積極的に発信していくこと等により、水産資源の保護培養のための普及啓発を行うため、内水面に関する規則等を掲載した県内の主要河川水系等のマップを作成した。

決算額：125,158円（マップ作成費用）

(1) 講演会の開催

- ・日 時：令和5年9月7日（木）午後1時30分から午後3時28分まで
- ・場 所：鳥取県立図書館2階 大研修室（鳥取市尚徳町101）
- ・参加者：鈴木由香利業務執行理事、寺田ルミ事務局長、中瀬香織書記 ほか漁協役員等20名
- ・内 容：①開会
②挨拶
③発表「アユ資源緊急回復試験結果について（H30～R5）」
発表者 田中秀一氏（鳥取県栽培漁業センター増殖推進室 主任研究員）
④講演「溪流魚の人工産卵場の効率的な造成手法について～実際の取り組み事例から」
講師 畑間俊弘氏（山口県水産研究センター内海研究部 専門研究員）
⑤質疑応答
⑥閉会

(2) マップの作成（合計4,700部作成）

天神川水系川マップ、日野川水系川マップ、湖山池マップ、東郷池マップを最新の情報に修正し、各関係機関（内水面漁業協同組合、県内の市町村、遊漁証取扱先）に配布した。

また、このマップを多くの方に幅広く活用してもらうため、ホームページに掲載し、内水面に関する規則等の情報を発信した。

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	9,441,724	9,464,375	△ 22,651
基本財産受取利息	9,441,724	9,464,375	△ 22,651
受取補助金等	573,000	109,000	464,000
受取鳥取県補助金	275,000	109,000	166,000
受取鳥取県受託金	298,000	0	298,000
受取寄付金等	5,300,000	5,300,000	0
受取寄付金等	5,300,000	5,300,000	0
雑収益	71	75	△ 4
受取利息	71	75	△ 4
経常収益計	15,314,795	14,873,450	441,345
(2) 経常費用			
事業費	14,318,430	14,158,393	160,037
給料手当	2,486,859	2,339,340	147,519
退職給付費用	76,505	66,905	9,600
福利厚生費	403,921	404,421	△ 500
旅費交通費	66,655	16,119	50,536
通信運搬費	135,711	135,798	△ 87
消耗品費	61,933	0	61,933
印刷製本費	125,158	104,225	20,933
光熱水料費	6,362	13,095	△ 6,733
賃借料	64,941	90,490	△ 25,549
支払助成金	10,890,385	10,988,000	△ 97,615
管理費	1,213,434	888,364	325,070
役員報酬	61,200	51,000	10,200
給料手当	621,714	584,835	36,879
退職給付費用	19,126	16,726	2,400
福利厚生費	100,980	101,105	△ 125
旅費交通費	31,725	27,215	4,510
通信運搬費	281,978	33,950	248,028
消耗品費	43,824	42,000	1,824
光熱水料費	4,241	3,274	967
賃借料	43,295	22,623	20,672
食糧費	4,251	3,376	875
雑費	1,100	2,260	△ 1,160
経常費用計	15,531,864	15,046,757	485,107
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 217,069	△ 173,307	△ 43,762
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 217,069	△ 173,307	△ 43,762
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 217,069	△ 173,307	△ 43,762
一般正味財産期首残高	1,496,723	1,670,030	△ 173,307
一般正味財産期末残高	1,279,654	1,496,723	△ 217,069
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	13,819,966	13,931,072	△ 111,106
基本財産受取利息	13,819,966	13,931,072	△ 111,106
受取寄付金等	5,300,000	5,300,000	0
一般正味財産への振替額	△ 14,653,269	△ 14,764,375	111,106
一般正味財産への振替額	△ 14,653,269	△ 14,764,375	111,106
当期指定正味財産増減額	△ 833,303	△ 833,303	0
指定正味財産期首残高	580,200,089	581,033,392	△ 833,303
指定正味財産期末残高	579,366,786	580,200,089	△ 833,303
III 正味財産期末残高	580,646,440	581,696,812	△ 1,050,372

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	(公1)増産促進事業	(公2)ふれあい事業	(公3)普及啓発事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	8,497,552	8,497,552	944,172	9,441,724
基本財産受取利息	0	0	0	8,497,552	8,497,552	944,172	9,441,724
受取補助金等	298,000	275,000	0	0	573,000	0	573,000
受取鳥取県補助金	0	275,000	0	0	275,000	0	275,000
受取鳥取県受託金	298,000	0	0	0	298,000	0	298,000
受取寄付金等	0	0	0	4,770,000	4,770,000	530,000	5,300,000
受取寄付金等	0	0	0	4,770,000	4,770,000	530,000	5,300,000
雑収益	0	0	0	0	0	71	71
受取利息	0	0	0	0	0	71	71
経常収益計	298,000	275,000	0	13,267,552	13,840,552	1,474,243	15,314,795
(2) 経常費用							
事業費	12,230,112	1,139,807	948,511	0	14,318,430	0	14,318,430
給料手当	1,243,429	621,715	621,715	0	2,486,859	0	2,486,859
退職給付費用	38,253	19,126	19,126	0	76,505	0	76,505
福利厚生費	201,961	100,980	100,980	0	403,921	0	403,921
旅費交通費	63,615	3,040	0	0	66,655	0	66,655
通信運搬費	46,768	31,178	57,765	0	135,711	0	135,711
消耗品費	61,933	0	0	0	61,933	0	61,933
印刷製本費	0	0	125,158	0	125,158	0	125,158
光熱水料費	2,121	2,121	2,120	0	6,362	0	6,362
賃借料	21,647	21,647	21,647	0	64,941	0	64,941
支払助成金	10,550,385	340,000	0	0	10,890,385	0	10,890,385
管理費	0	0	0	0	0	1,213,434	1,213,434
役員報酬	0	0	0	0	0	61,200	61,200
給料手当	0	0	0	0	0	621,714	621,714
退職給付費用	0	0	0	0	0	19,126	19,126
福利厚生費	0	0	0	0	0	100,980	100,980
旅費交通費	0	0	0	0	0	31,725	31,725
通信運搬費	0	0	0	0	0	281,978	281,978
消耗品費	0	0	0	0	0	43,824	43,824
光熱水料費	0	0	0	0	0	4,241	4,241
賃借料	0	0	0	0	0	43,295	43,295
食糧費	0	0	0	0	0	4,251	4,251
雑費	0	0	0	0	0	1,100	1,100
経常費用計	12,230,112	1,139,807	948,511	0	14,318,430	1,213,434	15,531,864
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 11,932,112	△ 864,807	△ 948,511	13,267,552	△ 477,878	260,809	△ 217,069
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 11,932,112	△ 864,807	△ 948,511	13,267,552	△ 477,878	260,809	△ 217,069
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 11,932,112	△ 864,807	△ 948,511	13,267,552	△ 477,878	260,809	△ 217,069
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	1,496,723	1,496,723
一般正味財産期末残高	△ 11,932,112	△ 864,807	△ 948,511	13,267,552	△ 477,878	1,757,532	1,279,654
II 指定正味財産増減の部							
基本財産運用益	0	0	0	12,437,969	12,437,969	1,381,997	13,819,966
基本財産受取利息	0	0	0	12,437,969	12,437,969	1,381,997	13,819,966
受取寄付金等	0	0	0	4,770,000	4,770,000	530,000	5,300,000
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 13,187,942	△ 13,187,942	△ 1,465,327	△ 14,653,269
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 13,187,942	△ 13,187,942	△ 1,465,327	△ 14,653,269
当期指定正味財産増減額	0	0	0	△ 749,973	△ 749,973	△ 83,330	△ 833,303
指定正味財産期首残高	0	0	0	522,180,080	522,180,080	58,020,009	580,200,089
指定正味財産期末残高	0	0	0	521,430,107	521,430,107	57,936,679	579,366,786
III 正味財産期末残高	△ 11,932,112	△ 864,807	△ 948,511	534,697,659	520,952,229	59,694,211	580,646,440

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,388,237	5,751,135	△ 4,362,898
未収金	573,000	109,000	464,000
流動資産合計	1,961,237	5,860,135	△ 3,898,898
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	81,421,000	86,721,000	△ 5,300,000
投資有価証券	497,945,786	493,479,089	4,466,697
基本財産合計	579,366,786	580,200,089	△ 833,303
固定資産合計	579,366,786	580,200,089	△ 833,303
資産合計	581,328,023	586,060,224	△ 4,732,201
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	651,155	4,333,114	△ 3,681,959
預り金	30,428	30,298	130
流動負債合計	681,583	4,363,412	△ 3,681,829
負債合計	681,583	4,363,412	△ 3,681,829
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	579,366,786	580,200,089	△ 833,303
(うち基本財産への充当額)	(579,366,786)	(580,200,089)	(△833,303)
2. 一般正味財産	1,279,654	1,496,723	△ 217,069
正味財産合計	580,646,440	581,696,812	△ 1,050,372
負債及び正味財産合計	581,328,023	586,060,224	△ 4,732,201

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

債券の取得金額と債券価額が等しいものは移動平均法による原価法によっている。
債券の取得金額と債券価額が異なる時にその差額が金利の調整を認めるものは償却原価法（定額法）によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	86,721,000	81,421,000	86,721,000	81,421,000
投資有価証券	493,479,089	304,466,697	300,000,000	497,945,786
小 計	580,200,089	385,887,697	386,721,000	579,366,786
合 計	580,200,089	385,887,697	386,721,000	579,366,786

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	81,421,000	(81,421,000)	(0)	-
投資有価証券	497,945,786	(497,945,786)	(0)	-
小 計	579,366,786	(579,366,786)	(0)	-
合 計	579,366,786	(579,366,786)	(0)	-

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第55回ソトバンクグループ社債	197,945,786	199,640,000	1,694,214
第59回ソトバンクグループ社債	300,000,000	300,570,000	570,000
小 計	497,945,786	500,210,000	2,264,214
合 計	497,945,786	500,210,000	2,264,214

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 令和5年度鳥取県魚を育む内水面漁業活動支援事業費補助金	鳥取県	0	275,000	275,000	0	
合 計		0	275,000	275,000	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額	9,353,269
受取寄付金等振替額	5,300,000
合 計	14,653,269

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金 西日本信用漁業協同組合連 合会鳥取支店	運転資金として	1,388,237
	未収金	鳥取県補助金	令和5年度鳥取県魚を育む内水面漁業活 動支援事業費補助金未収分	573,000
		鳥取県受託金	令和5年度アユ資源増殖促進業務委託金 未収分	275,000
				298,000
流動資産合計				1,961,237
(固定資産)	基本財産	定期預金 西日本信用漁業協同組合連 合会鳥取支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用している。	81,421,000
			公益目的事業に必要な業務又は活動の用 に供する財産であり、運用益を管理費の 財源として使用している。	73,278,900
	投資有価証券(指定)	事業債 第55回ソフトバンクグループ 第59回ソフトバンクグループ	公益目的事業に必要な業務又は活動の用 に供する財産であり、運用益を管理費の 財源として使用している。	8,142,100
			公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用している。	497,945,786
			公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用している。	178,151,207
			公益目的事業に必要な業務又は活動の用 に供する財産であり、運用益を管理費の 財源として使用している。	19,794,579
			公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用している。	270,000,000
	公益目的事業に必要な業務又は活動の用 に供する財産であり、運用益を管理費の 財源として使用している。	30,000,000		
固定資産合計				579,366,786
資産合計				581,328,023
(流動負債)	未払金	2,3月分NTT西日本等利用料 増殖促進事業：助成金 増殖促進事業：調査消耗品 労働保険料	NTTファイナンス(株)に対する未払額	651,155
			東郷湖漁業協同組合に対する未払額	10,582
			アマゾン(同)に対する未払額	604,646
			労働保険料確定による差引額	32,504
	預り金	役員報酬預り分 職員給料預り分	源泉所得税	3,423
			源泉所得税	30,428
	源泉所得税、住民税	468		
		29,960		
流動負債合計				681,583
負債合計				681,583
正味財産				580,646,440

附属明細書

1. 基本財産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	西日本信用漁業協同組合連合会1年定期預金	86,721,000	81,421,000	86,721,000	81,421,000
	第51回ソトバンクグループ社債	297,429,500	2,570,500	300,000,000	0
	第55回ソトバンクグループ社債	196,049,589	1,896,197	0	197,945,786
	第59回ソトバンクグループ社債	0	300,000,000	0	300,000,000
	基本財産計	580,200,089	385,887,697	386,721,000	579,366,786

令和6年度事業計画

【公益目的事業1：県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖促進に関する事業】

1 増殖促進事業

県内における河川や湖沼を取り巻く環境は、社会経済の進展による生産拡大及び生活様式の変化に伴う人為的汚濁水の増大、更に河川工事、自然流水量の減少等により自然生態系が大きく変化し、水生動物等の生息環境が著しく損なわれ、魚類等の水産資源が年々減少している。水生動物等にやさしい生息環境づくりを推進するため、河川及び湖沼の環境改善の進展と並行して、激減している魚類等の水産資源の保護及び培養に積極的に取り組む。

(1) 助成

河川及び湖沼の水産資源の増殖を促進するために実施する淡水魚介類の種苗の放流（アユ、ヤマメ、ウナギ等）及び水産資源の確保等（淡水魚介類の産卵場造成、カワウの追払い等）のための事業に対し、事業費の一部を助成する。

(助成計画)

実施主体	助成額	事業内容
千代川漁業協同組合	2,347,000円	アユの種苗放流、アユの産卵場造成等
天神川漁業協同組合	1,393,000円	アユ等の種苗放流、溪流魚の産卵場造成等
日野川水系漁業協同組合	2,671,000円	アユ等の種苗放流、産卵場造成等
湖山池漁業協同組合	704,000円	ウナギ等の種苗放流、シジミ漁場清掃等
東郷湖漁業協同組合	703,000円	ウナギ等の種苗放流、産卵場造成等
計	7,818,000円	

(2) 調査等

河川及び湖沼における水産資源の保護増殖、生態系の維持及び保全、また環境保全等のための調査等を実施する。結果等については、ホームページ上での掲載等の方法により、広く社会一般に公表する。

(実施計画)

ア 年間水温調査（県委託事業）

県内主要河川における水温記録装置による測定結果の回収を行う。

イ 遊漁者数調査（県委託事業）

6月～9月に、県内主要河川の各代表地点での遊漁者数のカウント、釣果状況等調査する。

ウ アユ放流状況調査（県委託事業）

千代川漁協と天神川漁協のアユの放流状況等について調査し、地図化する。

【公益目的事業2：県内の河川及び湖沼における水生動物等に親しむ機会の提供の促進に関する事業】

2 ふれあい事業

一般県民にとって、河川や湖沼は川遊びや釣りなどの親水性レクリエーションの場となっており、社会的に大きな役割を果たしている。しかし、現状は河川及び湖沼の流域の改変や内水面を取り巻く環境の変化に伴い、水生動物等に親しむ機会も希薄しているため、この役割がますます重要となっていることから、内水面の環境に対する理解を深め、関心を持ってもらい、河川や湖沼において水生動物等に親しむ機会を提供するとともに水産資源と人との共存及び生態系の保全・維持の重要性を周知し、地域の活性化に寄与することを目指す。

(1) 助成

県内の市町村、非営利団体、内水面漁協等が河川や湖沼において実施する魚のつかみ取り、放流等の事業（祭り、イベント内での開催も可。）に対し、事業費の一部を助成する。

なお、この事業は前年度中に公募し、応募のあったすべての事業について理事会で審査・選定を行い、助成額（事業費の2分の1以下、上限5万円）等を決定している。

(助成計画)

実施主体	助成額	事業内容
鳥取市	15,000円	地元の園児によるヤマメの稚魚放流
八頭町	50,000円	地元の園児によるヤマメの稚魚放流
河原町あゆ祭企画実行委員会	50,000円	参加者(中学生以下)によるアユのつかみ取り
国府フィッシングフェスタ実行委員会	50,000円	参加者によるヤマメ釣り及びつかみ取り

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金

小鷲河ふる里をまもる会	50,000円	参加者によるヤマメのつかみ取り、淡水魚の生態観察
智頭町親水公園連絡協議会	25,000円	町内児童によるヤマメのつかみ取り、学習会
天神川漁業協同組合	50,000円	参加者(小学生以下)によるヤマメのつかみ取り
高勢地域協議会	25,000円	参加者による水辺の環境整備、ヤマメのつかみ取り
竹田地域協議会	20,000円	参加者による水辺の環境整備、ヤマメのつかみ取り
みささ村地域協議会	25,000円	親子の参加者によるヤマメのつかみ取り
江府町観光協会	50,000円	参加者(小学生以下)によるアユのつかみ取り
日野川水系漁業協同組合	45,000円	地元の園児によるサケの稚魚放流
計	455,000円	

【公益目的事業3：県内の河川及び湖沼に関する水産資源の保護培養のための普及啓発に関する事業】

3 普及啓発事業

県内の河川及び湖沼において円滑に水生動物等にやさしい生息環境づくりを推進していくため、内水面に関わる利害関係者（一般県民、行政、漁業関係者等）が内水面における水産資源の実情を認識し、正しい専門知識を身につけ効果的な事業の実施及び信頼を深め協力体制の構築に繋がる機会を提供するほか、内水面に関する規則等重要な情報を積極的に発信していくこと等により、水産資源の保護培養のための普及啓発を行う。

(1) 講演会等

河川及び湖沼の環境の悪化等外的要因を起因とする水産資源に関する諸問題をテーマとし、講演会等を開催する。有識者による講演により現況の認識及び情報の共有、また参加者により意見交換を行い、河川環境の改善のための方針の決定や水利調整を図る機会とする。

〈実施計画〉

天神川において県の事業として実施される魚道の改修と併せて現地指導会（研修会）を開催予定。

(2) マップの作成

本法人が作成している県内主要河川、湖沼における各釣り場の表示や規則等を掲載した持ち運び可能な「マップ」を、毎年度最新の情報に修正して各関係機関（市町村、遊漁証取扱先、内水面漁協）に無償配布する。また、作成したマップをホームページに掲載し、幅広く活用してもらおう。

〈作成計画〉

合計3,940部（天神川水系川マップ、日野川水系川マップ、湖山池マップ、東郷池マップ）

収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	11,463	9,438	2,025	
基本財産受取利息	11,463	9,438	2,025	債券、定期運用益
受取補助金等	1,186	932	254	
受取鳥取県補助金	390	432	△ 42	
受取鳥取県受託金	796	500	296	
受取寄付金等	0	5,300	△ 5,300	
受取寄付金等	0	5,300	△ 5,300	
雑収益	1	1	0	
受取利息	1	1	0	
経常収益計	12,650	15,671	△ 3,021	
(2) 経常費用				
事業費	12,118	14,895	△ 2,777	
給料手当	2,764	2,487	277	
退職給付費用	79	77	2	
福利厚生費	452	439	13	
旅費交通費	265	131	134	
通信運搬費	79	140	△ 61	
消耗品費	30	100	△ 70	
印刷製本費	117	126	△ 9	
光熱水料費	12	18	△ 6	
賃借料	47	81	△ 34	
支払助成金	8,273	11,296	△ 3,023	
管理費	1,327	1,263	64	
役員報酬	72	72	0	
給料手当	691	622	69	
退職給付費用	20	19	1	
福利厚生費	113	109	4	
旅費交通費	50	40	10	
通信運搬費	205	282	△ 77	
消耗品費	30	44	△ 14	
光熱水料費	18	12	6	
賃借料	69	48	21	
食糧費	10	10	0	
雑費	5	5	0	
修繕費	44	0	44	
経常費用計	13,445	16,158	△ 2,713	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 795	△ 487	△ 308	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 795	△ 487	△ 308	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 795	△ 487	△ 308	
一般正味財産期首残高	1,195	1,494	△ 299	
一般正味財産期末残高	400	1,007	△ 607	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	13,359	13,904	△ 545	
基本財産受取利息	13,359	13,904	△ 545	運用益+償却原価額
一般正味財産への振替額	11,463	14,738	△ 3,275	
一般正味財産への振替額	11,463	14,738	△ 3,275	運用益
当期指定正味財産増減額	1,896	△ 834	2,730	
指定正味財産期首残高	579,366	580,200	△ 834	
指定正味財産期末残高	581,262	579,366	1,896	
III 正味財産期末残高	581,662	580,373	1,289	

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金

収支予算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	(公1)増殖 促進事業	(公2)ふれ あい事業	(公3)普及 啓発事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	10,317	10,317	1,146	11,463
基本財産受取利息	0	0	0	10,317	10,317	1,146	11,463
受取補助金等	796	390	0	0	1,186	0	1,186
受取鳥取県補助金	0	390	0	0	390	0	390
受取鳥取県受託金	796	0	0	0	796	0	796
受取寄付金等	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金等	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	1	1
受取利息	0	0	0	0	0	1	1
経常収益計	796	390	0	10,317	11,503	1,147	12,650
(2) 経常費用							
事業費	9,806	1,320	992	0	12,118	0	12,118
給料手当	1,382	691	691	0	2,764	0	2,764
退職給付費用	39	20	20	0	79	0	79
福利厚生費	226	113	113	0	452	0	452
旅費交通費	250	10	5	0	265	0	265
通信運搬費	32	16	31	0	79	0	79
消耗品費	30	0	0	0	30	0	30
印刷製本費	0	0	117	0	117	0	117
光熱水料費	6	3	3	0	12	0	12
賃借料	23	12	12	0	47	0	47
支払助成金	7,818	455	0	0	8,273	0	8,273
管理費	0	0	0	0	0	1,327	1,327
役員報酬	0	0	0	0	0	72	72
給料手当	0	0	0	0	0	691	691
退職給付費用	0	0	0	0	0	20	20
福利厚生費	0	0	0	0	0	113	113
旅費交通費	0	0	0	0	0	50	50
通信運搬費	0	0	0	0	0	205	205
消耗品費	0	0	0	0	0	30	30
光熱水料費	0	0	0	0	0	18	18
賃借料	0	0	0	0	0	69	69
食糧費	0	0	0	0	0	10	10
雑費	0	0	0	0	0	5	5
修繕費	0	0	0	0	0	44	44
経常費用計	9,806	1,320	992	0	12,118	1,327	13,445
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,010	△ 930	△ 992	10,317	△ 615	△ 180	△ 795
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,010	△ 930	△ 992	10,317	△ 615	△ 180	△ 795
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,010	△ 930	△ 992	10,317	△ 615	△ 180	△ 795
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	1,195	1,195
一般正味財産期末残高	△ 9,010	△ 930	△ 992	10,317	△ 615	1,015	400
II 指定正味財産増減の部							
基本財産運用益	0	0	0	12,024	12,024	1,335	13,359
基本財産受取利息	0	0	0	12,024	12,024	1,335	13,359
一般正味財産への振替額	0	0	0	10,317	10,317	1,146	11,463
一般正味財産への振替額	0	0	0	10,317	10,317	1,146	11,463
当期指定正味財産増減額	0	0	0	1,707	1,707	189	1,896
指定正味財産期首残高	0	0	0	521,429	521,429	57,937	579,366
指定正味財産期末残高	0	0	0	523,136	523,136	58,126	581,262
III 正味財産期末残高	△ 9,010	△ 930	△ 992	533,453	522,521	59,141	581,662